

この時期に「文武不岐」の「文」を鍛えよう。

冬の訪れとともに、部活動終了の時刻も17:00完全下校となり、「文」を鍛えるために時間をかけることができる時期となりました。また、3年生にとっては、私立高校の受験先も決まり、願書記入そして提出の時期となりました。

4月の春の時期には、総体に向け全力を出し切って悔いの無いように取り組み、新人戦では来年度の総体を見据えて取り組んできました。

そんなエネルギーを、今、この時期こそ、我慢強く自分の将来に向けて、学力と言う「地力」をつける時期です。

先日の学校だよりでも紹介しましたが、生徒会では、赤塚中学校の課題を「学力向上」と捉えて、学習の手引き「アカチュウナビゲーション」(通称、アカナビ)を作成し、全生徒に配付しました。また、生徒の自らの取組と並行して、この時期に「教員集団のチャレンジ!」と称して、生徒の学力アップに向けた取組を工夫、実践しています。

その一つは、昨年度から実施しています「学力向上週間」です。文書でもお知らせした通り、以下の取組を実施します。



その1

1 目的

学力診断のためのテスト(1・2年生が1/11に実施)に向け、授業以外の時間を確保し、対策を講じることで学力の向上を図る。また、3年生については、私立意識させ、進路の目標に向かって自主的な学習に取り組む機会とする。

2 期間 12月12日(月)～16日(金)

3 実施時間	12日(月)	6校時(～15:20)
	13日(火)	7校時(短縮日課 ～15:45)
	14日(水)	7校時(短縮日課 ～15:45)
	15日(木)	6校時(～15:20)
	16日(金)	5校時(～14:20)

※ 詳細については、配布した文書をご覧ください。

その二つは、「教員集団のチャレンジ!」としての各学年、教科での実践です。それぞれの学年で生徒の発達段階や実態に応じて工夫しました。また、各教科においても、それぞれの取組を工夫しました。教科によっては、一人で全学級を担当している先生もいますので、どの学年でも共通的に取り組んでいける内容を作成しました。

学年・教科	取組内容の概略
各 学 年	1 学年 【学年全体で関わる】 ①期末テスト時の提出物100%を目指す。 ②家庭学習強化キャンペーンの実施 ③漢字月例テストの実施 ④数学の復習プリントの継続 ⑤英単語テストの実施
	2 学年 原因は【学習に対する雰囲気、落ち着き具合など】 ①中央委員による学力向上キャンペーン ・5教科の問題作成(基本的な暗記問題) ・クラス対抗形式 ②その他 ・学級ごとの一覧表掲示 ・充実したノート展示
	3 学年 【学級内の上位生徒と下位生徒の得点差が大きい】 ①早朝学習会の実施(7:30～8:00) ②学生ボランティアを活用した学習会 火～金の放課後(16:00～16:55) ③中央委員を中心とした予想問題の作成 学級ごとの平均点を公開し、競い合う
各 科 教 育	国 語 ①漢字力テスト(仮称)の実施 ②基礎・基本定着タイム(仮称)の実施 ③短作文練習時間の確保
	社 会 ①定期的な確認テスト(単元終了後) ②ノート、ワーク等の提出の増
	数 学 ①授業時 ・復習問題(2～3)の実施 ・グループ活動 ②授業外 ・補充プリント ・補習学習(3年20点未満)
	理 科 ①授業の導入の工夫 ②理科の日常化 ③基礎学力の向上(授業時の5問テスト)
	音 楽 話を理解する力の育成 ①活動の内容や流れを黒板に明記する。 ②活動形態のパターン化(4人一組での話し合い活動の導入) ③ICT活用
	美 術 ①授業中での「鑑賞タイム」の設定 など ②授業作品の展示スペースの確保
	技 術 「分かる授業」の展開 ①副教材の選定 ②授業展開 ③素材の選定 ④その他
	家 庭 ①授業時の作業時間の確保 ②授業作品の展示スペースの確保
	保 体 ①瞬発力アップチャレンジ ②駅伝への学校としての取組 ③ウインタートレーニングの実施(12月～)
	英 語 ①授業時の単語テスト(ビンゴ型式) ②100題テスト(朝・昼休み・放課後) ③英検受験への呼びかけ など

一日24時間。誰にも公平に与えられた、将来への可能性の時間です。何を考え、何を目標として、何に取り組むかは、その人の考え方です。今できることを精一杯行い、悔いのないよう頑張ってください。